

環境省 脱炭素経営による企業価値向上促進プログラムについて

平成 30 年 9 月 25 日 (火)

1. 背景

2015 年の SDGs やパリ協定の合意以降、企業の温暖化対策は、社会課題を事業のリスク・機会として認識し、中長期の GHG 削減目標を立てることが新たな潮流となりつつあります。

その中でも SBT（企業版 2℃目標、Science Based Targets）や RE100（100%再エネ導入）など、既存の事業を前提とせず、社会課題に基づく野心的な目標設定が注目されています。

また、このような目標設定は、自社のみにとどまらずサプライチェーン全体での削減を志向しており、多くの関連企業やステークホルダーを巻き込みながら展開が進んでいます。

企業が温暖化のリスク・機会を認識し対策に取り組むことは、ESG 投資を行う機関投資家・金融機関からも重要視されており、気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）の提言においてもその重要性が言及されています。このように企業が経営戦略に温暖化をはじめとする環境要素を織り込むことは資金調達にも関わる重要な課題となってきています。

環境省は、民間企業が 2℃目標に整合した意欲的な目標を設定し、サプライチェーン全体で効果的に削減を進め、TCFD に沿った気候変動のリスク・チャンスを経営に織り込むような脱炭素経営に取り組むことを促進させるため、本年 6 月 30 日、「環境省 脱炭素経営による企業価値向上促進プログラム」を公表し、企業への支援等を実施することといたしました。

2. プログラムのコンテンツと現状

(1) SBT や RE100 などの目標設定の支援

① SBT（企業版 2℃目標）の設定支援

SBT 認定を目指す企業を対象に、説明会の開催や個別の面談での助言を行います。SBT に精通した事務局のきめ細やかなサポートを受けることが可能です。

<対象事業者>（公募期間：平成 30 年 6 月 27 日～7 月 31 日）

【個別面談参加企業】（21 社）

アズビル/ウシオ電機/カルビー/佐川急便/ジェイテクト/塩野義製薬/住友ゴム工業

DIC/大日本住友製薬/大鵬薬品工業/凸版印刷/豊田自動織機

日清製粉グループ本社/日新電機/日本電産/三菱ケミカルホールディングス/三菱地所

三菱自動車工業/三菱 UFJ フィナンシャル・グループ/ヤマハ/ライオン

② 中小企業版 2℃目標・RE100 の設定支援

今年度からは中小企業に特化した SBT の設定支援を開始いたしました。RE100 を目指した再エネ電力導入に関する助言も行っております。

<対象事業者> (公募期間：平成 30 年 6 月 27 日～7 月 31 日)

エコワークス/大川印刷/精電舎電子工業/艶金化学繊維/リマテックホールディングス

③ サプライチェーン排出量の算定支援

サプライチェーン排出量を企業が継続して算定できることを目指し、算定のノウハウをお伝えします。説明会や面談、メールや電話での質問対応を行います。

<対象事業者> (公募期間：平成 30 年 6 月 27 日～7 月 31 日)

カルビー/小森コーポレーション/JVC ケンウッド/住友理工/東洋紡/日清製粉グループ本社
日新電機/日本航空/富士通ゼネラル/マンダム

④ 下流 CO2 排出低減貢献製品の製造企業認定

製造段階での工夫をすることで、サプライチェーンの下流に影響を与え CO2 排出削減に貢献する企業を評価し、その貢献を認定いたします。

※本年度は認定基準の検討を行う。

(2) SBT や RE100 などの目標に向けて削減行動の支援

⑤ 企業版 2℃目標ネットワーク

2℃目標に取り組む企業間でのコミュニケーションを活発化させるネットワークをつくります。勉強会を開催し、設定した目標やソリューションを WEB で公表します。

<参加事業者> (平成 30 年 8 月 31 日時点) (随時募集受付中)

【目標設定会員】(21 社)

アズビル/大塚製薬/オムロン/花王/コクヨ/コマニー/サッポロホールディングス/サンメッセイコーエプソン/積水ハウス/大東建託/大和ハウス工業/高砂香料工業
東急不動産ホールディングス/凸版印刷/豊田自動織機/西日本電信電話
ファンケル/ベネッセコーポレーション/明電舎/LIXIL グループ

【支援会員】(12 社)

エコスタイル/NTT ファシリティーズ/オムロンフィールドエンジニアリング
カーボンフリーコンサルティング/自然電力/スマートエナジー/大和エネルギー
ティーネットジャパン/マイクライメイトジャパン/ミカド電装商事/みんな電力/ユーラスエナジーホールディングス

⑥ 企業版 2℃目標・RE100 サポーター

企業版 2℃目標の達成や、RE100 実行に向けた再エネ利用拡大に関する経営計画の策定支援ができる事業者をアドバイザーリストに登録し、環境省 HP 等で紹介します。

<登録事業者> (公募期間：平成 30 年 6 月 27 日～7 月 17 日)

アオイ環境/イースクエア/エコスタイル/エスコアドバンス/エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所
オムロンフィールドエンジニアリング/グリーン購入ネットワーク (GPN) /グローバルエンジニアリング
サンメッセ/ジェネックス/ゼロワットパワー/ソコテック・サーティファイケーション・ジャパン
ソーラーフロンティア/脱炭素化支援/デロイトトーマツコンサルティング/日本カーボンマネジメント
日本自然エネルギー/日本総合研究所/日本能率協会コンサルティング
ネクストエナジー・アンド・リソース/備前グリーンエネルギー/ブライトイノベーション
マイクライメイトジャパン/ミカド電装商事/みんな電力/Reivalue

(3) TCFD に沿って気候変動リスク・チャンスを取り込む経営の支援

⑦ TCFD に沿った気候リスク・チャンスのシナリオ分析支援

TCFD(気候変動関連情報開示タスクフォース)の提言に沿って、自社にとっての気候変動リスクとチャンス进行分析し自社の経営戦略のリスクマネジメントに反映し、開示を目指す取り組みの実践を支援いたします。

<対象事業者> (公募期間：平成 30 年 6 月 27 日～7 月 17 日)

伊藤忠商事/商船三井/住友林業/東急不動産ホールディングス/日本航空/三菱自動車工業

⑧ インターナルカーボンプライシング活用の支援

インターナルカーボンプライシングを導入し、企業が脱炭素経営を推し進めることができるよう専門家によるインターナルプライシングの活用支援を行います。

<対象事業者> (公募期間：平成 30 年 6 月 27 日～7 月 17 日)

アシックス/丸井グループ/東急不動産ホールディングス/日本郵船/三菱自動車工業

⑨ ESG 対話プラットフォームの運営

ESG 対話プラットフォームの運営により、環境活動に積極的に取り組む企業が適切に投資家から評価され、適切に資金が流れるように企業と投資家等の対話を支援します。

<随時募集受付中>

⑩ エコアクション 21

エコアクション 21 に取り組むことにより、中小事業者でも自主的・積極的な環境配慮に対する取組が展開でき、かつその取組結果を取りまとめて公表できるように工夫されています。

<随時募集受付中>

3. 関連 Web ページ

- ・グリーン・バリューチェーンプラットフォーム（サプライチェーン排出量や SBT 等に関する情報プラットフォーム）

http://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/index.html

- ・環境情報開示基盤整備事業～ESG 対話プラットフォーム～

<https://www.env-report.env.go.jp/>

- ・エコアクション 21

<http://ea21.jp/>